

研究機関：広島大学

研究課題名	厚生労働省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班 急性肝不全の全国調査（平成23年～30年度）
研究責任者名	広島大学病院総合内科・総合診療科 教授 田妻 進
研究期間	平成29年12月27日 ～ 平成31年3月31日
対象者	平成22年1月1日から平成30年12月31日の間に、広島大学病院で急性肝不全と診断され治療を受けた患者さんを対象とします。
意義・目的	急性肝不全は予後の悪い難病です。その治療法や予防法の確立のために、日本における実態を明らかにして予後予測システムを構築するための研究が全国規模で行われており、当院でも実施することとなりました。
方法	本研究は、ご協力頂ける患者さんの診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は生年月、性別、身長、体重、初診日、肝不全の病型、症状発現日、基礎疾患、肝疾患、HBキャリアの有無、手術歴、輸血歴、飲酒歴、家族歴、薬物歴、肝不全成因・転帰、初発症状、身体所見、血液検査所見（昏睡度、PT、PT-INR、HPT、ATIII、Alb、T-bil、D-bil、AST、ALT、LDH、ALP、CK、BUN、Cre、CRP、AFP、NH <sub>3</sub> 、Fisher比、BTR、HGF、Platelet、WBC、RBC、FDP、D-ダイマー）、画像所見、合併症、治療法、肝組織病理検査、肝移植について、転送元・転送先病院です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	厚生労働省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班分担施設（11施設）、日本消化器病学会、日本肝臓学会の理事および評議員が所属する施設（589施設）と救急医学会の会員施設（502施設）の全国1,102施設から研究主幹である埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科（教授 持田智）に情報を集め解析します。
試料・情報の管理責任者	埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科 教授 持田智
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-5461

広島大学病院総合内科・総合診療科 教授 田妻 進 (研究責任者)